



幸せな贈り物

「もしかしたら？」 あなたの子どもかもしれません

ホスト・ホステス 氾濫時代

大学卒業生の就職寒波が厳しい中で、大学生 10人中4人は「就職放棄状態」と答えて、これから青年失業者問題がより一層、深刻化する展望が出てきています。実際に、2000年に23万人だった大卒以上の失業者は昨年は34万6千人に増え、史上最高値を記録しました。このような中で、異常に増加傾向を見せている業種がホスト（Host）とホステス（Hostess）だと言われています。

夜中2時、カンナムホストバーでは、どんなことが起きているのでしょうか。最近になって、ソウルのカンナムに毒キノコのように出てきたホストバーが犯罪の温床になっています。1月の18日に警察および業界によれば、カンナム一帯の最小100ヶ所のハブ・不法ホストバーに、一日平均1万人あまりの女性客が来て、彼らの中で相当数は、性売買をするということです。複数の業者関係者の証言を総合すれば、カンナム地域のホストバーの全体の売上額は年間3000億ウォン以上と推測されていて、カンナム・ソチョ・ソンパグなど「カンナム3区」でだけ100ヶ所余りのホストバーが盛んに営業していると口をそろえて言います。このように、業者が増え

ながら、地下鉄2号線カンナム駅一帯にだけ1300～2000人の男性が高級ホストバーなど、ホストバーで働いていると調査がされました。ホストバーの大衆化を通して、男性中心の夜文化が、女性専用の遊興文化に発展しているのですが、問題は未成年と主婦などの脱線まで続いているというところにあります。8年間、現職ホストをしていたA氏は「40代の家庭主婦と独身女性が売春を最もよくして、カラオケなどでホストを呼んで歌って、2次に行く未成年者も時々いる」と話しました。月收入最大2000万ウォンだと明らかにした現職「選手」は「学費を少しもうけようとホスト業界に飛び込んでお金の味を知ったあと、結局、抜け出すことができなかった」と話しました。安い価格のホストバーやホストを呼ぶ場合、平均50万ウォン程度ならば2次売春に行くのにホテル費とコールタクシー費も女性がすべて払ってくれるということです。ソウル、チョンダムドンの有名ルームサロンで、いわゆる「テンプロ」で活動しているB(26歳・女性)さんは、4年前22歳のとき、はじめて遊興店に足を入れる前までヨイドのある投資専門会社で仕事をしていた金融専門職の女性でした。そのようなBさんが、友人とともに好奇心でホストをはじめて訪問した後には、まるで中毒になったように出入りするようになったのでした。

Bさんは「ホストバーに行けば『選手』のホストたちが絶えず私の中で一番きれいだとほめてくれて、笑わしてくれるので、気持ちが良い女がどこにいるのでしょうか」と言いながら「ひんぱんに行く時は、一週間に三、四回はホストバーに行きました」と打ち明けました。ホストバーの得意客になりながらBさんは相手の「選手」と外部でもたびたび出会いを継続して、それとともにBさんは選手にブランドのプレゼントと服、生活費まで渡すようになりまし。このようにして、Bさんが選手に使ったお金が4年間で総額4億ウォンになり、これ以上、会社で稼ぐお金だけで生活できなくて、結局、自ら遊興店に足を踏み入れるようになったのでした。

女性経済活動人口 60 人中に 1 人がホステス?

〈国税統計年譜〉2010年版から2009年を基準に全国の遊興店で仕事をするホステス従事者数は、13万9904人で、彼らに代価として一年間支給された総額は1兆9151億5000万ウォンだと把握されています。さらに2009年20歳以上50歳未満の女性経済活動人口が799万人で、単純統計上、女性経済活動人口60人中で1人は遊興店のホステスだと言われている。しかし、分かってみればこの数値は氷山の一角に過ぎないということです。ソウルのカンナムのある遊興酒場に行ってみれば、迷路のような廊下にそってお客さんが集まっていて、女性のホステスが入口の前に列をなして立っています。この酒場でだけ、数百人の若い女性が働いているのですが、それでも足りないのが実情だということです。遊興店の関係者が言うのに「足りません。6百人が出てきても足りないのですが、6百人がみなエースではないでしょう。部屋が終われば回って…芸能人級程度のサイズが出てくるエースは1億も出して…」容姿がずば抜けている、いわゆる「エース」には巨額の契約金が行き来したりもします。規模は違いますが、全国にはこういう遊興酒場が2万5千ヶ所もあります。1ヶ所に平均10人だけずつ働いているとしても、遊興酒場で働く女性ホステスの数は25万人に達するという計算が出てきます。税金を出さずに仕事をする女性が、はるかに多いということです。本当に人間の欲望はのぞきからくりの中に陥っています。21世紀は、より一層わい曲された性文化、性売買、家庭破壊、性と関連した病気(AIDS)、麻薬と墮落で

汚れていきつつあります。人間の誤った欲望は、結局、個人の人生を崩して、家庭、次世代、社会を崩すだけです。誤った人間の欲望を、どのようにしなければならぬのでしょうか。

誤った欲望からの脱出

本質が回復しなければ、欲望がもたらす苦しみと不幸も終わりません。はじめから、魚は水で生きて、木は地で生きるように創造されました。同じように、人間は神様とともに生きるように創造されたのです。この本質を離れては幸せになれません。しかし、人間は悪魔(サタン)の誘惑を受けて神様を離れるようになって、その結果、人間の運命はサタンに左右されて、罪と呪いと苦しみの中に陥るようになったのです。分からないむなしさと不安が訪ねてきて、幸せを求めてもがくのに、結局は繰り返す墮落と犯罪の中にさまよって、結局、死後にはさばかれて、永遠な地獄に落ちるようになりました。善行や教育、哲学、宗教は良いことなのですが、このような人間の本質的な問題を解決することはできません。この世には悪魔をなくせる英雄はいません。さらには、人間の罪を解決できる義人もいず、永遠のいのちを回復させてくれる人もいません。これは霊的な問題なので、どんなものによっても解決できないのです。それで神様は人間が解決できない原罪、その結果で訪れてきた呪いと災い、運命、目に見えないサタンの働きを解決するキリスト(Christ)を送って下さることを約束してくださいました。人間が神様に会う道になって(ヨハネの福音書14:6)、すべての罪と呪い、生年月日による運命から解放される道になってください(ローマ人への手紙8:2)、サタン(悪魔)のしわざを打ちこわして、その手に捕まって奴隷になっている者たちを解放する道になってくださいました(ヨハネの手紙第一3:8、ヘブル人への手紙2:14~15)。

このキリストがまさにイエス様です。だれでもイエスがキリストという事実を信じて受け入れれば、永遠な神様の子どもに戸籍と身分が変わって、神様の子どもの権威が与えられます。今この時間、イエス・キリストを私の救い主として信じて口で告白して受け入れる瞬間、神様の子どもの祝福、本来の人間の真の幸せを回復するようになるのです。

あなたは大切な人です。

霊的問題を知らなければ 人生は失敗する

「心の風邪」と呼ばれるうつ病は、韓国人口の6人中1人の割合で体験していて、全世界的に3億3千万人の患者がいるという統計が出てきました。最近、世界保健機構（WHO）の発表によれば、主要障害および死亡原因の疾患中4位に発表されるほどで、特にうつ病患者の15%が自殺を試みるなど、社会問題になっています。

ついに世界保健機構では、健康の定義において霊的な健康（Spiritual Health）を提案して、「肉的、精神的、そして社会的健康と合せて霊的健康が連合して、強い状態（Dynamic）になるとき、はじめて真の健康である」と発表しました。

神様のみことばである聖書は、人間の成功した生活についてこのように語っています。「愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります」（ヨハネの手紙第三1:2）魚は水の中に、木は根を地中におろすとき、いのちと幸せがあるように、人間は神様とともにいるとき、真の幸せと祝福を味わうようになると語っています。いくら名誉があつて、財産が多く、成功しても、いのちを失えばなんの役にも立たないと語っています。「人は、たとい全世界を手に入れても、まことのいのちを損じたら、何の得がありません。そのいのちを買い戻すのには、人はいったい何を差し出せばよいでしょう」（マタイの福音書16:26）。成功する人間の生活のためには、いのちとたましいが最も重要だというみことばです。この霊的な健康がなければ、人間には理解できない不幸が繰り返すようになります。本来の人間は、神様とともにいて、すべての祝福を味わう幸せな存在でした。ところで、目に見えない悪い霊的存在であるサタン（悪魔）の誘惑に負けて神様を離れる罪を犯すようになってしまいました（ローマ人への手紙3:23、創世記3:1~6）。その結果、すべての人間は自分も知らない間にサタン（悪魔）の奴隷になります（ヨハネの福音書8:44）。サタンがもたらす呪いと災いと苦しみと死の恐怖に苦しめられながら、運命と生年月日による運勢に縛られるようになります。山田さんの家で生まれた子どもたちの姓が自然に山田になるように、最初の人間であるアダムとエバが罪を犯した後に、すべての人間は原罪を持って生まれるようになって、神様を知らない死んだたましいになりました（詩篇14篇）。そして、サタンは今も人間を不幸と滅びの中に引っ張っていています。これがまさに人間を不幸にさせる隠れている霊的問題です。それで、人間の力で解決できないこの霊的問題を解決する道が、まさにイエス・キリストであることを聖書は知らせています。イエス・キリストは神様に会う道です（ヨハネの福音書14:6）、すべての罪と呪い、生年月日による運命から解放される道です（ローマ人への手紙8:2）サタン（悪魔）のしわざを打ちこわして下さって、その手に捕まって奴隷になっている者たちを解放する道だと確かに言われています（ヨハネの手紙第一3:8、ヘブル人への手紙2:14~15）。イエス・キリストはすべての人生の問題の解答です。

「あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたけるししのよう、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています」（ペテロの手紙第一5:7~8）

神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。
私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。

しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放して下さったキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。

イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様が 信じられます



イラスト
キム・ジョン

かなり以前
に中央アジア
に行ったとこ
ろ、韓国人がたく
さんいた。知ったところ、

彼らは高麗人（カレイスキー）と呼ばれる人々で、日本が韓国を強制支配していたとき、沿海州に居住した人々に対して、スターリンが日本人と似ているので戦争が起きれば区分しにくいと、中央アジアに強制移住させた人々の子孫だった。寒い冬の凍った地に飛ばされた彼らは時代の痛みだったが、韓国人特有の粘り強さによって生き残って、今でも難しい環境で苦勞している。

今は韓国の名前の代わりにロシアの名前で呼ばれる50歳ぐらいになったセルゲイは、自分が移民3世だと言いながら、たどたどしい韓国語で自己紹介した。おじいさんがキョンサンドに住んでいたということで、聞いたところでは教会によく通っていた方だったが「神は死んだ」という共産国家で「宗教はアヘン」という洗脳教育を受けた彼に、祖先の最高の価値だった信仰の痕跡を見出すことはできなかった。しかし、彼は神様を信じたいと言いながら、神様はどなたで、どのように彼に会えるのかと尋ねた。それとともに、彼は神様が信じられないと頭をかきあげたが、神の存在と意味を殺してしまって単語をなくしてしまった文化抹殺の呪いが苦しみで迫ってきていることを事実として知ることができ、心が痛かった。

アメリカに移民で行った韓国人に会った。はじめて行く外国現場で、言葉も法も難しいところだったので、自分の意志半分、他人の意志半分で、彼らは信仰を移民の過程と思って教会を通うことを通して実際に多くの助けを受けた。しかし、それも少しの間であり、時間が流れて、彼らは信仰の根拠をのがしたまま礼拝の形式だけの教会と準備されていない

牧会者の間で、多くの葛藤と傷を抱いて生きるしかなく、結局は、教会を離れてしまった。彼らは生命の福音を宗教化させて、批判だけの態度で一貫して誤った信仰知識を確信しているので、信仰の道を自分の固執の防御壁として、本当に信仰で力を得なければならぬ現実をのがしていた。結局、イデオロギーのためになくした高麗人の信仰や、資本主義の豊かな自由のためになくしてしまった移民の信仰は、人間を手段と方法を動員して神様を信じないようにさせ、離れるようにさせるアダムをだましたサタンの策略に、今日もはまっていることに過ぎない。

両親が信じられて、両親を受け入れるという子どもは信仰が良いと言わない。いのちの関係で両親と子どもはお互いを信頼して受け入れることの中で喜びを味わう。神様が信じられないということは、自分の事実の忠実にした率直な表現だが、この話は人間を創造した方を信じるができないという怖い知識優先のいのちをのがす告白になるのだ。知識は信仰のための案内になることができるが、私の信仰のために知識が動員されなければならないほど、私の状態が墜落しては困る。聖書が語るみことばの事実の上で、その事実が信じられる状態が最も当然の信仰だ。それで、信仰は神様のプレゼントだという。自然世界の太陽、月、星のような光が価値あるように、私のいのちであるキリストの光がまさに私の光だという告白を通して、むなしい知識と人間苦しみから抜け出る信仰で、真に自由を得る告白を待つ。

チョン・ヒョングク_福音コラムニスト

* 相談したい方はこちらまでどうぞ